

はじめに

近年、朝食欠食など子どもたちの食生活の乱れや肥満傾向などが見られ、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう学校における食育を推進することが喫緊の課題となっています。

学校においては、これまでも教育活動として、学校給食を生きた教材として、食に関する指導を行ってきたところですが、さらに、子どもたちが、食に関する正しい知識と健全な食生活を実践できる資質・能力を身につけることができるよう、学校・家庭・地域が連携して、積極的に食育に取り組むことが大切です。

小中学校の学習指導要領（平成20年改訂）では、その総則に「学校における食育の推進」が盛り込まれたほか、関連する教科等での食育に関する記述が充実されました。これを受けて、三重県教育ビジョンでも「学校における食育の推進」について今後の方向性を示しました。

また、本年度5月には、学校における食育の推進の手引書として「食で育む、元気なみえの子―基礎編―（三重県教育委員会）」を作成しました。

本実践編では、基礎編をもとに食育の推進を進めていただき、自校の課題に沿ったテーマで、学校、家庭、地域が連携して取り組んでいる具体的な活動の実践を紹介しています。

今後、各学校や子どもたちの実態に応じた、より効果的な食育の推進を実践していただく際の参考にしていただき、学校における食育のさらなる充実に向けて、学校、家庭、地域の連携推進が図られることを期待しております。

最後になりましたが、実践事例を提供していただきました学校、並びに編集にご協力いただきました関係者の皆様にお礼を申し上げます。

平成26年3月

三重県教育委員会